

「本気で無機被覆材でインフラを守る」セラアンドアース

無機質・新技術「塗るゴム」開発

紫外線カット、柔軟、強密着、高浸透、簡便・省工程施工

「本気で無機被覆材でインフラを守る」というと、橋梁などインフラに向けた無機系塗料の開発と施工を牽引してきた無機質コーティング協会の中核社・セラアンドアースが、無機系材料でありながらゴムのように伸縮する新材料シリカゴムコーティング（塗るゴム）を開発、2019年から阪神高速などで試験施工を重ね、鉄道や自治体などにも広がりが出てきた。環境負荷を低減しながら、構造物を長寿命化し、簡便かつ省工程施工などがSDGsや人手不足を背景に支持を集めているようだ。コンクリートも鉄も守る新技術・新工法として関心を集めている。

「これまでになかった材料が開発できたことで、鋼桁端部防水やコンクリート床版端部止水、ひび割れ対策、防錆、狭い部などの施工困難箇所、あるいはコンパクトに施工したい箇所への対応、点検時に携帯して応急処置に使うなど、対応用途が広がりそうです。」

「これまで施工できなかった」という箇所や、環境負荷低減の観点から、無機材料が固形換算で6〜8MPaの密着力がある、紫外線と反応させると25〜45%占めている、

「段取りから含め何工程も要して対策している開発も含めた相談窓口を、ごまごま省工程にしたい」といった要望に「心えられる材料だと思件に施工が広がってき」

「お客さまと用途の無機、柔軟、密着、浸透力、紫外線カット、簡便・省工程施工」

「先ず、先行して多様な用途を拡げていきたい」

「このうち、防水や防錆、剥落対策、紫外線カットなどの用途で施工した現場の事例を写真①〜⑤で紹介する。」

同社は、「お客様が困っている、または改善したいと思っっているあの案件に使えるかも、というイメージをしやすいよう具体例を紹介するので、ピンときたらぜひ相談窓口ご連絡していただき、用途を拡げていきたい」

老朽化する鋼・コンクリート建造物の
予防保全・長寿命化のご提案！

本気でインフラを守る セラマックス工法

1 液性無溶剤・無機形コーティング材

環境・省工程・工期短縮・LCCの低減・SDGs

一般社団法人無機質コーティング協会 販売元 株式会社セラアンドアース

大阪市浪速区日本橋西1-1-15 ウイル TNビル3F
TEL (06)6647-3312 FAX (06)6647-3314
詳しくはHPをご覧ください <http://www.serakai.com>

無機系でありながら柔軟で追随性が高く、密着力も高いのはまるでゴムのよう。透明で視認性が良いこと、紫外線と反応させる技術もセ社が保有しているため紫外線を遮ること、低分子なので浸透力が高いことなどの特徴がある。

剥落対策や防錆をはじめとする用途では、紫外線を99%以上カットしながら、点検時の当該箇所の視認性も確保できる。

「用途ピンときたら窓口」 技術相談を増強 テスト施工なども



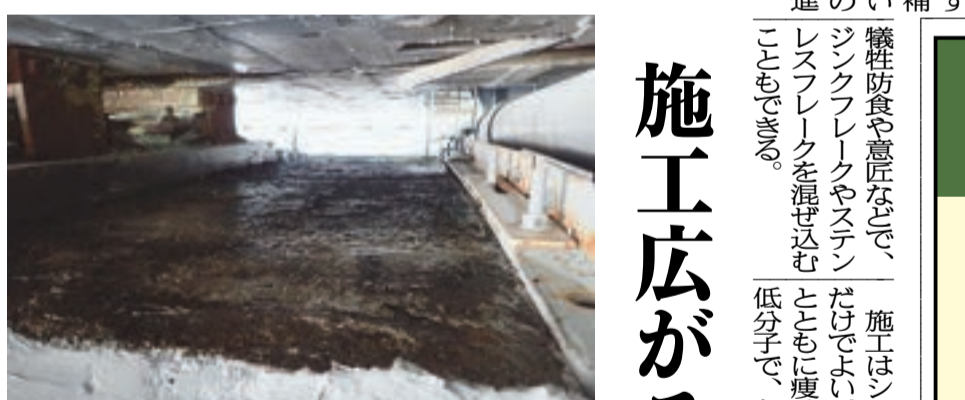
①【ゴム沓】
鋼桁、ゴム沓、沓モルタルなどをそのまま施工出来るため、塗装の取合いがなくゴム被覆の劣化対策にもなり、ゴム沓周りの補修に適している。



②【鋼製高欄との取合い部】
拡幅高欄上の防水対策として施工。鋼製高欄とコンクリート床版との取合い部など材質の変化点にも適用が可能であり、塗装の問題点をクリア。



③【高欄・アイランドの取合い部】
アイランド周りの止水対策として、縁石の取合い部分からガッター部まで施工。



④【PC桁と橋脚との狭陰部】
PC桁と橋脚の狭陰部の橋脚天端防水対策として、清掃したうえで施工。



⑤【鋼製橋脚】
橋脚など局所的に減肉した個所にて、パテにて成形後に防食対策として施工。排水管路周りなどの取合い部も一括で施工が可能。

多様な用途

施工広がる

る技術を保有しているため紫外線劣化せず、紫外線による被覆材は厚くなる、発錆を起さず、すに破断したり、気泡が入りやすくなるなどして性能が低下するが、これを起こさぬよう、低分子でか

る技術を保っているため紫外線劣化せず、紫外線による被覆材は厚くなる、発錆を起さず、すに破断したり、気泡が入りやすくなるなどして性能が低下するが、これを起こさぬよう、低分子でか

「施工はシンプルに塗るだけでよい。材料は経年とともに痩せてくるが、低分子で、かつ高分子に

「施工はシンプルに塗るだけでよい。材料は経年とともに痩せてくるが、低分子で、かつ高分子に

至る構造としたことで、塗り足しても膜が切れたり、気泡が入ったりなど、簡便かつ省工程で施工できる。

「これらの特性から、ひび割れ充填、桁端部の防水・止水、剥落対策、防

また、FRPなどの有機物質に塗ると、紫外線劣化を抑制できることから、ゴム支承表面などに